

## コペンハーゲン市域における高齢者向けアクティビティセンターの利用実態

アクティビティセンター, 高齢者, 活動内容,  
来所日数, 交通手段, コペンハーゲン市域

正会員 ○小川 正光\*  
同 小川 裕子\*\*  
同 斉藤 光代\*\*\*

### 1. はじめに

デンマークでは、高齢者向けのデイサービスを行う施設には2種類がある。虚弱な高齢者を対象としたデイセンターと、比較的自立度が高い高齢者を対象としたアクティビティセンターである。本研究では、自宅で居住する高齢者の日常生活を補完し、活性化させる後者を対象とした実態調査を通じ、わが国の高齢者施設の計画に示唆を与えることを目的とする。

### 2. 研究の方法

コペンハーゲン市と同市に囲まれたフレデリクスベア一市を対象地域とした。まず、高齢者向けアクティビティセンターと考えられる施設に対し概要を把握する郵送調査を実施した。33施設に対し配票したが内11施設は他施設で、22センターの回答を得た。次に、立地に注目して中心部から郊外に至るまで段階的に3センターを抽出し、或る1日に来所したすべての利用者に対するアンケート調査を実施した。調査時期は、2001年3月である。

### 3. アクティビティセンターの立地と利用者数

両市内において存在が確認されたアクティビティセンターの位置を、図1にプロットして示す。コペンハーゲン市内は、各行政区ごとに1箇所は配置する原則が読みとれたが、再開発中などの一部の区には配置されてい

ない偏りもある。各区の単位は、一辺がほぼ2, 3kmの範囲で形成され、徒歩や自転車による来所も可能である。

22のセンター各々の登録者数をみると(図2)、100人未満のセンターが占める割合が高く、他の市に比べると小規模で、アクティビティ活動に特化したセンターである場合が多い。小規模な集団での活動が可能で、定期的な活動を通じて利用する高齢者の在宅における生活状況も含めて把握しやすいという利点がある。

### 4. アクティビティセンターの利用者層

3つのセンター利用者の性別では(表1)、女性の方が多くを占めていた。年金受給者になるのは一般的に67歳以降であるが、表2の年齢分布によると早期退職者も訪れていることがみられた。来所者が増加するのは70歳以上で、80歳前半の利用者が最も多くを占めていた。80歳以上では減少傾向を示すが、90歳代でも来所していることが注目された。

### 5. アクティビティの内容

高齢者が利用する目的は、食事や喫茶を始めとしたアクティビティ活動と利用者相互の交流である。食事・喫茶以外に参加しているアクティビティ活動をみると(表3)、身体状況を活性化する「体操」が最も多く、「歌」や「パーティ」も盛んであった。しかし、多くの活動内容は

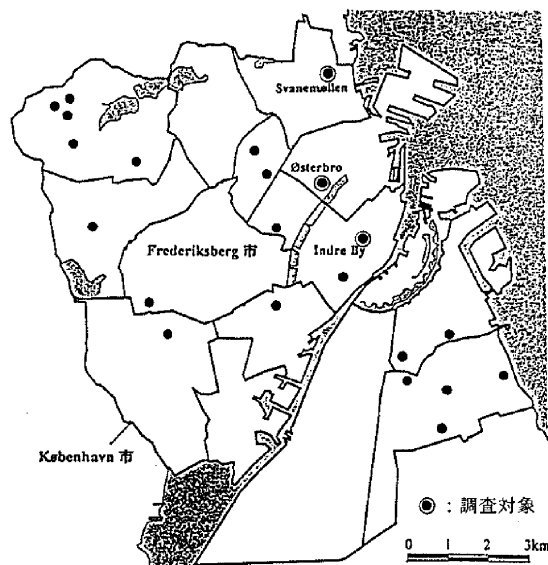


図1 アクティビティセンターの立地状況と調査対象アクティビティセンター

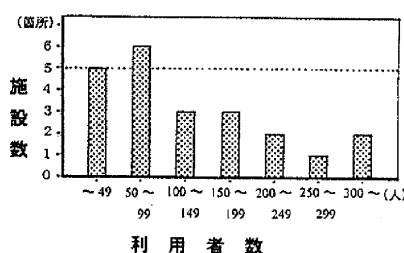


図2 利用者数別、アクティビティセンター数

表1 利用者の性別

	男性	女性	計
Indre By	3	19	22
Østerbro	2	23	25
Svanemøllen	12	24	36
計	17	66	83

表2 利用者の年齢

	55-59	60-64	65-69	70-74	75-79	80-84	85-89	90-94	95歳-	計
Indre By	2	2	1	2	3	7	3	1	1	22
Østerbro	·	3	3	2	3	5	4	4	·	25
Svanemøllen	·	·	1	6	8	10	6	5	·	36
計	2	5	5	10	14	22	13	10	1	82

静的なもので、「絵画」、「トランプ」、「読書」、「新聞」、「グループ学習」、「講演を聴く」などが多かった。これらの静的な作業や思考を刺激する活動は、痴呆の予防を目的とする高齢者層を特徴付ける楽しみ方である。近くへの「遠足」も活発で、自然と親しんで気分を変えることも高齢者にとって好評であることを示している。

アクティビティ内容には、各センターの設備や運営主体の得意分野により異なり、各センターが独自性を形成して利用者に対して選択の幅を与えている。

6. アクティビティセンターへの来所頻度

高齢者が1週間に利用する頻度をみると(表4)、最も多いのは週2日で、3つのセンターで共通していた。週3日や1日という来所頻度も一定の割合を占め、中には毎日来ている高齢者もいた。

1週間の利用頻度別に満足度を集計すると(表5)、週1回という利用頻度では半数に近い高齢者が不足していると回答し、週2回になると、ほとんどが充足するという関係がみられた。したがって、現在最も多い週2日という来所頻度は、高齢者の生活上の必要性を基礎として決定された頻度であり、一般的な高齢者にとっては十分な程度と判断される。

7. アクティビティセンターへの来所手段

高齢者が来所するのに利用している交通手段を検討した(表6)。「自転車」と「自家用車」という回答はみられなかった。約7割が「送迎サービス」を利用し、約2割が路線「バス」を使い自ら通っていた。残りの約1割が「徒歩」である。3つのセンター間には差がみられた。市内中心

部のインdre・ビューでは「送迎サービス」の比率が低く、「徒歩」で来る比率が高いのに、郊外のスパーネムラーでは「送迎サービス」の比率が高く、「徒歩」はみられないというように対照的であった。市の中心部では「徒歩」による移動が一般的であることや、買い物を兼ねてセンターを利用するのに適しているからであろう。

年齢層別に利用する交通手段をみると(表7)、年齢による変化がみられた。60歳未満では、必ず「徒歩」で来所していた。60歳代でも「徒歩」がみられたが、70歳代でみられなくなる。60歳代からは、「バス」や「送迎サービス」を利用している。「バス」を利用する高齢者は75~84歳の層で最大であったが、「送迎サービス」を利用する高齢者の数は80~84歳を最大とし、その前後に分布する。60歳代までは「徒歩」でセンターまで来れるが、70歳から80歳では停留所までは歩いて「バス」を利用するようになり、75歳以上になると自宅から「送迎サービス」を利用することが多くなるという、年齢による変化が読みとれた。85歳以上では「バス」利用がほとんどみられなくなるため、「送迎サービス」の整備が必須であることを示している。85歳以上でも「徒歩」で通う高齢者が、2名みられた。

8. まとめ

都心部でも高齢者の自宅から身近な範囲にアクティビティセンターが配置され、送迎サービスにより高い年齢層でも利用可能としていた。活動内容は幅広く、各センターごとの特徴も形成していた。

\*) 本研究は、財)住宅総合研究財団の研究助成により実施した。記して謝意を表する。

表3 アクティビティの活動内容

	歌	体操	ダンス	理学療法	足の療法	機織り	編み物	刺繍	木工	陶芸	絵画	ビデオ	映画	ビリヤード
Indre By	1	10	1	1	・	1	4	1	・	4	10	・	・	2
Østerbro	6	8	・	1	3	・	3	1	・	・	7	2	4	2
Svanemøllen	15	21	・	1	2	2	2	3	・	1	1	4	8	・
計	22	39	1	3	5	3	9	5	・	5	18	6	12	4

\*) 重複回答

	チェス	トランプ	読書	新聞	グループ学習	講演を聴く	パーティ	遠足	旅行	その他	計
Indre By	・	9	5	1	7	4	10	7	5	・	83
Østerbro	・	・	5	4	5	6	3	6	1	1	68
Svanemøllen	・	12	6	15	9	21	15	17	2	1	158
計	・	21	16	20	21	31	28	30	8	2	309

表6 来所に用いる交通手段

	徒歩	自転車	バス	自家用車	送迎サービス・タクシー	計
Indre By	6	・	7	・	9	22
Østerbro	1	・	4	・	20	25
Svanemøllen	・	・	5	・	28	33
計	7	・	16	・	57	80

表4 1週間の来所日数

	1日	2日	3日	4日	5日	計
Indre By	1	17	3	1	・	22
Østerbro	3	12	7	1	2	25
Svanemøllen	6	20	6	・	1	36
計	10	49	16	2	3	82

表5 1週間の来所日数別、満足度

	1日	2日	3日	4日	5日	計
充分	6	42	14	2	3	67
不足	4	3	1	・	・	8
計	10	45	15	2	3	75

表7 年齢別、来所に用いる交通手段

	55-59	60-64	65-69	70-74	75-79	80-84	85-89	90-94	95歳-	計
徒歩	2	2	1	・	・	・	1	1	・	7
バス	・	1	1	2	4	4	1	・	・	13
送迎サービス	・	2	3	7	10	17	11	8	1	59
計	2	5	5	9	14	21	13	9	1	79

\* 愛知教育大学教育学部・教授・工博  
 \*\* 静岡大学教育学部・助教授・博(工)  
 \*\*\* PLAN・所長・芸修

\* Prof., Faculty of Education, Aichi Univ. of Education, Dr. Eng.  
 \*\* Assoc. Prof., Faculty of Education, Shizuoka Univ., Dr. Eng.  
 \*\*\* Leader, Arkitekttegnestue 'PLAN', M. Design